

館長先生の傘寿のお祝い



平成 29 年 7 月 27 日 天野道場夏季特別練習終了後



お祝いの言葉と手紙



お酒と花束のプレゼント



館長先生のお礼の一言



平成 29 年 7 月 26 日（水）は、館長先生の傘寿にあたる 80 歳のお誕生日でした。次の 27 日の夏季特別練習終了後にサブライズで門下生からのお祝いの言葉と、皆さんのご有志で買った赤ワインと花束をプレゼント致しました。その時の館長先生からの一言を紹介いたします。「まず、ありがとうございます。こういう企画をしているのを全然知らなくて… 私は、この道場を開いて 40 余年になるのかな。その間みんなの先輩にあたる、お父さんお母さん達と稽古をしていました。それが今度はその先輩たちが家庭を持って、子供を授かって、その子供達が大きくなって道場へ来て稽古をしている。それを見ると先生は『道場を開いていて良かったな』と、とても嬉しく思っている。道場を開いた時は『地域の為に、青少年の育成で指導しよう』と、それが原点だった。それが幸いな事に、皆のお父さんお母さん、そして先輩たちがそれぞれ大人になって社会に貢献している。これからは皆が成長して、やはり先輩たちと同じように社会に貢献出来る人になってもらいたいと思う。このまさか 80 歳、こういう御祝いをしてくれる事は想像もしていなかったし、また逆に言うともう 80 歳になって、もう 10 年は頑張ろうと思った。そして『道場を開いている以上は稽古を着る』これが大事。稽古を着ないでただ居るだけじゃ、これはもう道場主としての意識がないように思う。柔道は一生のスポーツだからな。元気な内に、また色々な良い思い出を作りたいと思う。それも皆と一緒に稽古をしながら。これからも一生懸命頑張りたいと思う。今日は、どうもありがとうございます。」大変お喜びで終始笑顔でした。ご協力して下さいました皆さん本当にありがとうございました。（緒方光一）